

ある特定のフォルダに置いた全ての.unsファイルに対して、同じリスタートファイルを適用して可視化を行うスクリプトをご紹介します。

■ 基本的な考え方

基本的なロジックは極めてシンプルです。

1. OSコマンドを使用して対象ファイルのリストを作成し、テンポラリファイルに格納する
2. テンポラリファイルに格納されたファイルのリストを読み込み、リスト型変数に格納する。
3. リスト型変数の要素を使ったループを作成
4. 対象ファイルの読み込み
5. リスタートファイルの適用

■ 動作環境

- Windows版FieldView
- .unsファイルと同じ場所にfvxファイルを置いて実行して下さい。

■ ソースコードの解説

ソースコードの記述	機能説明
<pre>execute("dir /B *.uns > ./fieldviewtmpfile")</pre>	<p>OSのコマンドを実行し、ファイルのリストをテンポラリファイルに格納します。 /B：ファイル名のみ表示するオプション。</p> <p>Linux上で動作させるにはlsコマンドに書き換える必要があります。</p>
<pre>while readstring ~=nil do readstring = read(data_handle) if readstring ~=nil then readstring = gsub(readstring,'%r%n?', '') filename[i]= readstring i=i+1 end end</pre>	<p>テンポラリファイルを読み込み、ファイル名を切り出して変数名filenameにリストとして格納します。</p> <p>ただし、改行コードまで含まれてしまうため、それをgsub関数を使用して削除します。</p>

ソースコードの記述	機能説明
<pre>for i=1,getn(filename) do dataset_table = { data_format = "unstructured", input_parameters = { name = "./"..filename[i], options= { transient="off", input_mode="replace" } } } local read_handle=read_dataset(dataset_table) fv_script("RESTART ALL_NO_DATA_READ sample.dat")</pre>	<p>取得したファイル名を使ってループを作ります。</p> <p>解析結果読み込み部です。 filename[i]としてリストからファイル名を取得します。</p> <p>No data readオプション付きでRestartさせます。</p>